



2023年8月25日
イオンアグリ創造株式会社

～SDGs「誰一人取り残さない（leave no one behind）」社会実現のために～ 若年性認知症の方の社会参加の支援として イオン埼玉久喜農場での作業体験会実施

イオンアグリ創造株式会社（代表取締役社長：福永庸明）と公益社団法人認知症の人と家族の埼玉県支部※¹（若年性認知症サポーターセンター、代表：花俣ふみ代）は、若年性認知症の方の社会参加支援の一助となる取り組みを共に推進します。2023年8月3日（木）、その取り組みの始めとして、イオン埼玉久喜農場において農作業体験会を行いました。

全国20ヵ所で直営農場を運営しているイオンアグリ創造株式会社では、地域の福祉作業所の方や、知的障がいの方も活躍しております。このたび、若年性認知症の方の社会参画の機会創出に貢献するため、公益社団法人認知症の人と家族の埼玉県支部の協力を得て、初めての農作業体験会を実現しました。この体験会は、厚生労働省が推奨する「有償ボランティア」の枠組みに基づいて開催されており、体験会終了後に、参加された方との意見交換会を行い、謝金の贈呈式を行いました。

記

1. 日 時 2023年8月3日（木）12時～15時
2. 場 所 イオン埼玉久喜農場（埼玉県久喜市六万部）
3. 参加人数 17名（内・ご家族5名）、帯同職員11名
4. 体験作業 農業用ハウス内の除草、トマト出荷用のパックのシール貼り

作業風景（除草）



作業風景（シール貼り）



- ・「久しぶりに遠足みたいで楽しかった。」
- ・「汗だくで草取りをして、お金をもらって嬉しかった。」
- ・「シールを貼る手作業。この先にお客さまがいると思って、気持ちよく買って頂けるよう、真剣に作業をした。」

今後も、イオンアグリ創造株式会社は、お客さまに安全で安心な農産物をお届けするとともに、農場経営を通じて「誰一人取り残さない（leave no one behind）」社会実現を目指してまいります。

※1 公益社団法人認知症の人と家族の会埼玉県支部について

全国47都道府県に支部を有する国内唯一の当事者団体。その中の埼玉県支部であり、認知症当事者（本人・家族）のピアサポートを主な活動としつつ、「認知症になっても安心して暮らせる社会」を目指し43年間ボランティアを基本に活動を継続しています。埼玉県及びさいたま市から委託を受けて、若年性認知症サポートセンターとしてコーディネーター3名を配置し、若年期に特化した相談支援業務を行っています。また、当事者の就労等社会参加支援の一環として、定期的（毎週木曜日）に本人が運営する「りんカフェ」と称した場を設け、当事者同士が出会い、つながるための居場所作りにも努めています。現在、県内に2か所、「がーやカフェ」「春カフェ」の立ち上げから運営支援も行っています。

サポートセンター業務以外にも、家族の会では認知症の方を介護するご家族が集まり、日常の介護生活の悩みや相談事を話し合う「つどい」の開催や、認知症の「電話相談」「会報の発行」を活動の3本柱とし、9月21日世界アルツハイマーデーを中心に9月をアルツハイマー月間とした様々な全国規模での啓蒙・啓発活動にも取り組み、今年で30回を迎えます。

（ご参考）

※イオンの認知症サポーター養成の取り組み

イオンは、2007年から高齢化社会への対応の一環として厚生労働省とNPO法人「地域ケア政策ネットワーク」が推進する「認知症サポーター100万人キャラバン」に小売業として初めて全社的に参画し、イオンの従業員向け「認知症サポーター養成講座」を開催しています。認知症を正しく理解し、認知症の方とご家族を適切にサポートするための取り組みで、認知症サポーターは国内企業で最大規模となる82,904人（2023年2月末現在）、またキャラバンメイトは約900人を育成しています。



以上